

熊谷サービスソリューションセンターにおける環境活動

当社グループのソリューション・サービス事業の主要拠点である、熊谷サービスソリューションセンター（熊谷SSC）は、1974年に富士通(株)熊谷工場として開設され、磁気ディスク装置や光ディスク装置・媒体の製造などを手がけていました。その後、2002年に当社グループのサービス事業部門が同工場にて事業を開始しました。そして、2018年5月に、富士通(株)より同工場が当社グループへ譲渡され、現在の名称で運営されています。

環境負荷の低減

熊谷SSCでは、富士通(株)時代から環境活動に力を入れてきました。例えば、省エネ対策として、2012年にLED照明への入れ替えを開始して以降、これまでに3,000本を超える本数の設置を完了し、年間370MWh程度の電力使用量の削減効果となっています。



玄関ロビーに設置されたLED照明

生物多様性保全（多目的ビオトープ）

生物多様性保全の一環として、1998年より事業所内に自然環境復元機能、水質浄化、汚濁防止機能などの「多目的ビオトープ」づくりに取り組んでいます。同ビオトープには、メダカやザリガニのような水生生物や各種野鳥が棲みつき、生物の生息空間を創り出しています。

なお、今後は、同ビオトープを再整備することで内容をより充実させ、従業員の環境保全意識の向上に活かしていく予定です。



ビオトープに棲みついた野鳥



ビオトープの小川

海外グループ会社の取り組み

北米におけるRFIDソリューション・サービス（Positek RFID, Inc.）

Fujitsu Frontech North America, Inc. (FFNA) の子会社であるPositek RFID, Inc. (2017年11月設立、アメリカ・ペンシルバニア州に拠点) では、当社のフロントテクノロジー製品の1つであるUHF帯RFIDタグ（リネンタグ）を利用したソリューション・サービスを展開しています。

例えば、リネンレンタル業界向けに、濡れて密集した状態でも高い読み取り率を実現したリネンタグと読み取り装置、そしてパートナーベンダー様が提供のクラウドとの組み合わせによる「衣類レンタル製品追跡システム」を共同で開発・提供し、ランドリー工場における業務の効率化／自動化に貢献しています。

当ソリューション・サービスは、使用済み衣類の入荷～クリーニング済み衣類の出荷までの全工程を追跡管理できるシステムです。タグの一括読み取りによるオペレーションの効率化や生産ラインの自動化により、これまで発生していた無駄なコスト・エネルギーを削減するとともに、耐久性の強い小型リネンタグを繰り返し使用することで資源の有効利用にもつながっています。



システムを導入したランドリー工場

【イメージ図】

